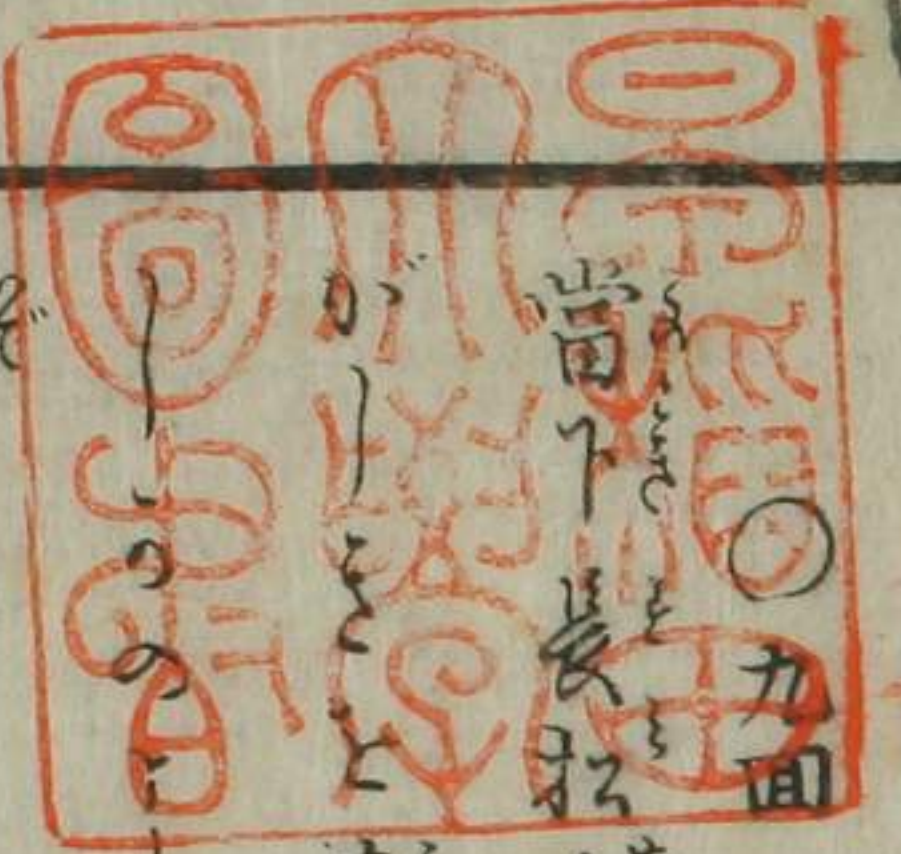


遠門
號 470
卷 4

本清

賣油郎卷之四



まらとはきもの

芝屋芝叟



當下長松下の東屋の国房よりてお火場おほひよさの
がしととすしと竹事よとたつなるふ火車ありて志っ
て。余を働とつるよ美赤坊ハ美やうまこと。精神
とだまず。又ハ風頭としおほえとまハ且合家の者と
まづめをとが小苑柳の主ぬまハ。雨潤ある事と早く
推し。余を働成国房へ後し。奉の仔細と問ふ余を働

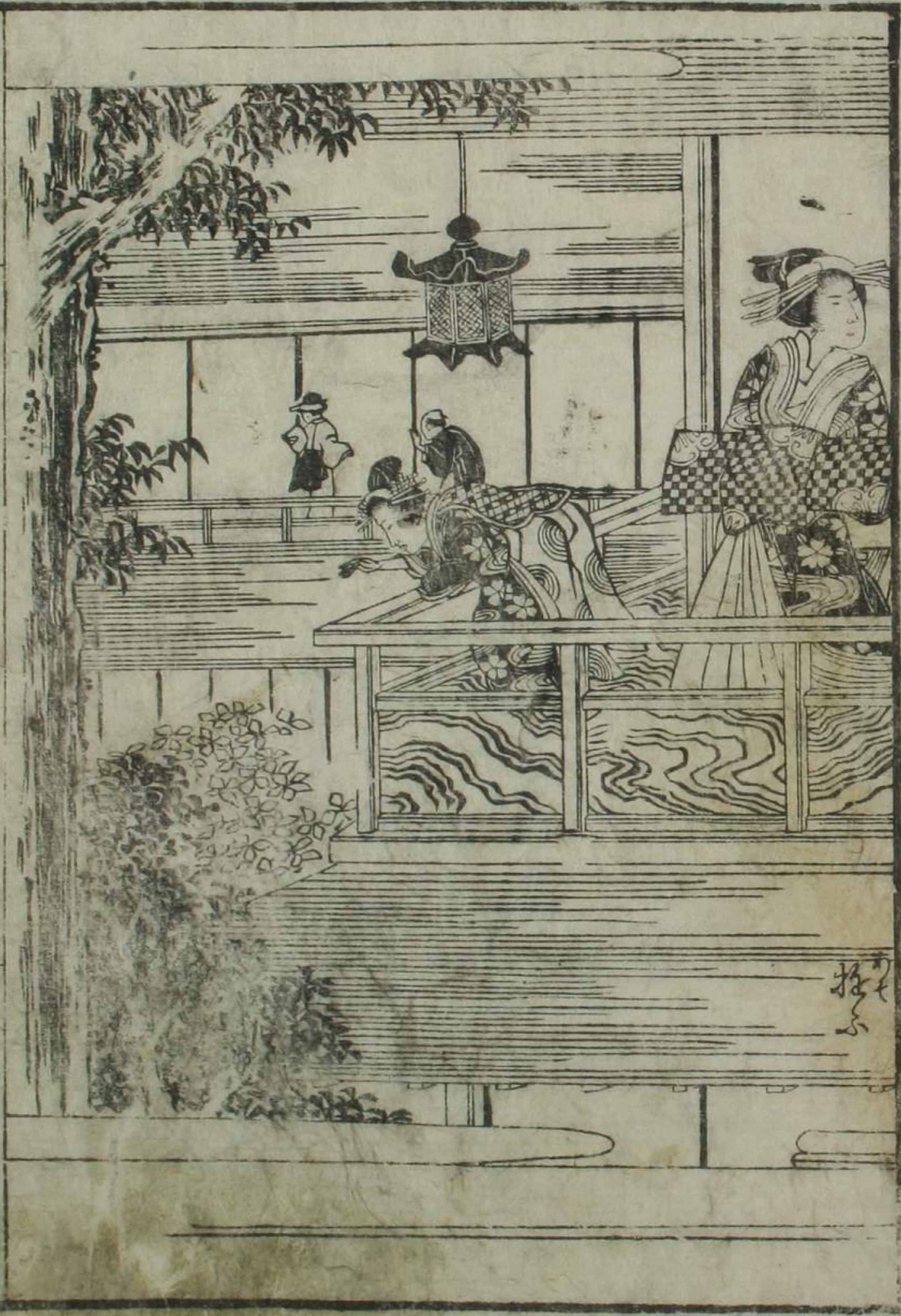
賣油郎

先のふくまよ一料のため。松位と一板もとめたるを
り。とあつて。右のいづれも。若しからずやと同に。
余を周のいらく。我指授屋のあつて。路より。外代の
妓は念おしと。東道のり。いふも。被いまは。廓
の出名よして。其名遠近は。すえあま。詰州のハ秀逸
まきども。格好よあたひ。つて。費多く。すう。客人
とえらして。振るよ奇偶と。定めす。しつとも。客人よま
けハ。偏ぜすといへども。小まふりよ。其伴ハ。恒ハ。廓中
ふありて。他と。鬻たまし。の人さる。へ。被兼引と。固かる
へ。と。つ。よ。ふ。あ。て。余。ま。周。漢。地。差。つ。ま。り。志。づ。く

黙して。あ。い。が。かく。て。果。ド。と。ん。と。定。め。彼。あ。づ。ま
路。と。朱。雀。野。よ。て。魚。想。サ。い。し。一。年。余。の。辛。苦。と。つ
て。一。板。の。花。後。衣。敷。網。夜。の。費用。まで。畜。た。る。有。枝
有。ふ。と。つ。む。ら。よ。か。り。け。懐。り。か。の。黄金。碎。浪。と。出
し。え。せ。る。ま。ば。東。通。ハ。か。ま。と。守。こ。ま。と。見。て。大。い。な。感
伏。して。懐。く。我。田。思。を。一。て。后。余。ま。周。よ。向。い。計。ら。よ
べ。と。肯。あ。り。と。て。早。速。よ。人。と。を。ら。せ。て。目。あ。つ。ま。路。
動。静。と。り。の。び。ハ。い。む。る。ふ。と。の。よ。り。浪。花。の。台。鼎。百。花
樓。と。い。へ。る。揚。屋。よ。居。け。け。よ。て。招。め。と。も。定。め。り。
明。後。十。七。日。より。二。日。ハ。風。月。樓。の。揚。十九。日。より。廿。五。日。迄。

とべて樓々の定朝あまは。廿六日さらでり陶日おし。
 そまも於白雪樓。後賀の客人の蔭やくそくあまの
 ちうとい謀ひがくと告まふ。治定ハ廿八日おらして信せ
 かたきとりしよ。東友大とふ家の毒よあかり。今因おに
 びろごとも。かむうの出ま的ままがせんをべしし。
 廿八日と約し。数日と待せゆるが。一尋ふ。余ま漸
 くらしからど。たと一幾日と待とも。東友がまんまんの
 執もらよて。思ひごま陸とけけうへの幸ましとらうとびぬ。
 東友も高いの利銀とことまて。一日おらとも早く事
 のかまうしとして。廿七日ハ一病治末とあまは。狂てもりらひ

とべし。首尾まま人と死て。知らせまいらせんままら
 ら。まよ一糸の蔭あり。被君その伴の生まをまらうら
 控席がゆるをまらと推量。各家の者示して。谿
 羽の台鼎と披露とべし。其伴もそのかまへし。
 かさらどし。賣油家のたつきを。たとらまのし。ま
 美のかほと守りまら。余ま濁ハ東友の屋。話と。家菴が
 再世のまらあひて。大まよろこびを日ハ。山崎ふらうて
 后奇偶の日か。どらるハ。能るの一月とたのしむらどく
 待そし。廿六日長ね下う人と死て。廿七日ハ。ま
 白雪樓の揚とまま。廿八日とやうし。小約たり。うぬ



拾



子美
くま
うめ
吉
目
樓
小

らそりも侍ぬるし。火車の文も中送まば余を漸
 崔踊して其日の朝まぶた上髪と梳き煎湯よめれて
 沐し。ふも巾かの灸やうなる大指子の衣板と着して
 午時より山崎と出て長松下ふいたまば。東屋うれが強
 と感。何とぞ首尾とせんとおりよが也へ。花街に
 来る賣油鳥おる事。り口外をりあらば。うね
 らざ晦ととらとべーと。合家の男女と固く禁し
 ひろふ。さくとも小余を漸とあいまきて。幸とと
 げとせんため。谿羽の台鳥としておいて。且大廳ふと
 後どる。花巻のさるる。さるるもの。傾國花里の樂

おまじも。余を漸いたる。此と漸よのそむがごとく。或
 懼い。こして。道の産上と通まば。火車玉筆ととげ
 出。仲居ハ簡としく。余を漸ハ。このめとひの。矩規たが
 ころ。本と或。密うよ。宗菴が。おしへと。公中よ。さるる。
 先の扇面を用きて。産右よ。おさ。東屋が。差。あ。致。致。
 三人。来ま。び。火車。を。作て。孤。を。の。透。向。ま。と。や。う。と。り
 拜ひ。お。あ。づ。ま。路。が。方。へ。ハ。近。ひ。の。人。携。と。か。け。て。ま。く。
 ひ。た。と。り。玉。筆。と。と。じ。致。技。ハ。三。弦。と。と。り。て。お。の。り。
 致。致。と。奏。と。ま。ば。是。割。度。の。い。ち。お。る。り。と。余。を。漸。致。致。け
 て。曲。お。い。ま。ば。声。と。一。段。さ。う。う。して。好。い。と。讚。る。こ。と。声。余

殊々まじ。席上一月よ。面とえ合して笑ひとせ。日洗に
 暮て。菊燈を燈りやけども。あづま陰はいま。こまらず。余を
 濁いたぐか。ま一條の。おもはく。ぬま。ば。公中。大よ。と。は
 くといへども。大。融。ハ。公。永。く。延。べ。よ。と。の。教。ハ。ら。ぞ。と
 其。ま。と。あ。の。び。と。風。も。づ。と。え。せ。ん。と。幫。間。二。三。人。ま
 ぬ。く。べ。し。と。寛。閑。よ。い。ひ。ら。ま。じ。ば。仲。居。ども。そ。ま。く。と。い。ひ
 て。人。と。弛。ハ。火。車。ハ。揚。の。客。人。ま。ら。し。格。致。屋。へ。い。ひ
 送。ま。ども。い。ま。ご。あ。づ。ま。路。ハ。ま。ら。ず。ま。ま。と。し。や。人。と。や。り
 て。動。靜。と。同。し。ひ。る。よ。其。日。ハ。翠。雲。樓。と。い。へ。る。方。お。な
 し。と。の。客。ま。ら。し。由。へ。か。し。ふ。り。た。る。よ。し。づ。え。け。ま。は。火。

車。糸。の。毒。ま。お。り。い。け。方。の。客。人。ハ。初。會。の。幸。ま。ま。と。い。は。早
 と。や。ぬ。こ。し。後。ハ。ま。じ。と。記。と。曲。と。憑。り。も。今。出。名。の。死
 魁。ま。ま。ば。ま。ま。

〇十回 ぬり路なるもの

良久し。う。して。吾。妻。路。づ。小。三。板。盤。野。と。い。へ。る。が。ま。じ
 来。て。死。魁。ま。今。う。へ。と。若。く。ま。じ。大。車。ハ。直。に。席。に
 きて。出。逢。も。彼。ま。つ。し。と。孤。老。と。程。く。ま。ま。と。ん。が。お
 ぬ。り。あ。づ。ま。海。ハ。翠。雲。樓。の。客。人。よ。ま。め。ら。ま。置。け。ども
 いたく。酒。は。酔。や。ま。て。松。島。が。肩。小。か。ま。ま。たり。て。僕。屋
 ころ。席。上。に。え。後。し。孤。老。ハ。あ。ま。ぬ。り。か。と。余。を。濁。と

指どすよ。火車 ちうりとう。吾妻路 ぶくしうがひ
えて。是うならざえきりたる人ありと。か中ふもいひ
大醉の時まきば。恒々廊中へ来る。賣油郎といふもつ
かす。被考人いおぼけよきりたる人として。又よ名め
る。まにあらざる。かの人と客とせむ。諸人の物笑ひと。ま
だしとうよ。火車この河は。梅くろくといへども。おん
いつりて。死懸王作とのたまふぞや。孤をハ。谿羽の篠
山よて。富ス。此方ぬる。こたび系地。己物のため。ま
後へぬまば。あへて。こちうういとも。ぬんぞぬき
ま。己の方客と。まきや。およ。是人遠ひならんぞ

ふともまげよ。死儀らん。平日よふと。ま。と。火車の
おままで。いへん。幸ねまき。吾妻路も。は。よく
かへべくも。あらざ。補償い。い。さ。ま。ま。と。い。ま。あ
ゆ。ま。ま。その。風。姿。げ。よ。鳴。原。の。一。人。月。も。ね。ま。ま。
花も。け。お。さ。う。の。面。か。け。ま。ま。火車と。い。づ。して。余。ま
湯が。産。右。お。は。う。の。因。初。た。い。り。ん。の。判。度。ま。ま。ま。
吾妻路。吾。と。り。あ。げ。て。ま。ま。火車。余。ま。湯。が。ま。ま。ま。
置。と。ま。ま。家。菴。が。か。い。へ。い。ま。ま。と。吾。と。り。て。三。度
いた。死。て。の。む。ま。あ。つ。ま。路。ハ。余。ま。湯。が。お。初。の。ま。ま。ま。
の。ま。ま。ら。ば。ま。ま。た。ら。く。と。え。て。あ。い。む。れ。ま。ま。ま。と。い。は

まゝいゝおりのうつけん下かゝるまのどくまのり
るふへ人と死たる。幫回二個まゝるよ。吹塵をまば
余を勝ハ直ハ産とたちて。幫回ハ孔と厚くし。小ハハ
大山崎河内を果ハ邪家。住坊余を周といつるもの
あり。己後の酒見をりやいるべしとして。記位書のおとく
夾侍より。全銀百疋と出して。兩個ハあたへたまは。幫
回等ハ。客人の酒落おくとおりのいて。よれハありらひぬ。
吾妻路ハ。始より公ハ深どるうへ。彼ハおす不どの幸れ
り。一とく。おさら容小亭を叩どる。名まま。人々を
佐よりうり付人とおどとめ。そのもく。産と立て。小軒ハ

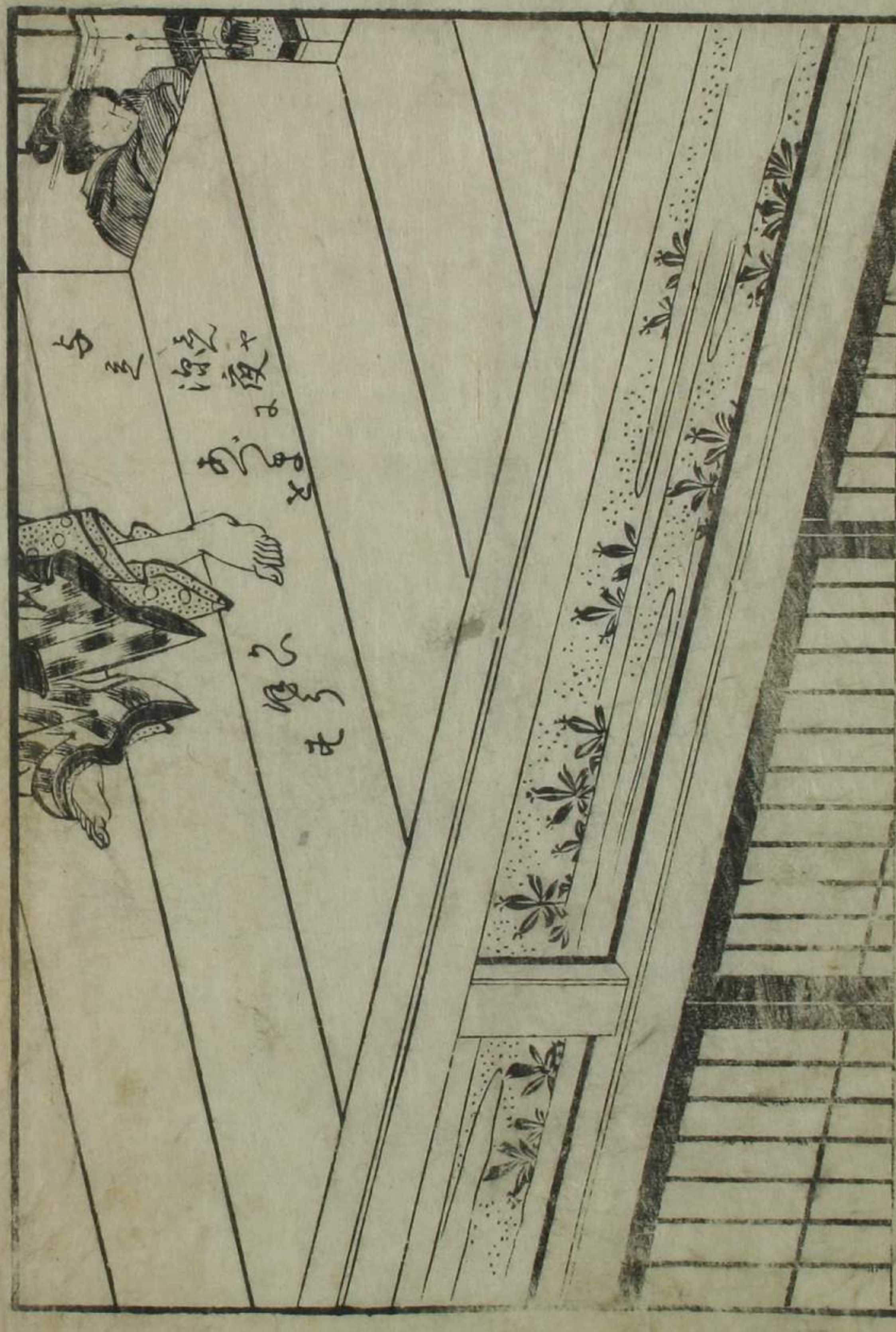
小いたる。付そハ。繁産ハいひふくめて。庖厨よりふけ
り。よせ。眼をぬく。舌はげたま。繁産ハ。こまを見て。
系魁主。登り。酔は。またまへハ。多く。さし。ま。ま。ど
いとへども。我酒ハ。酔ド。くといひつ。ま。ま。一。け。け。よ
十。数。ど。り。ぞ。飲。于。る。原。来。酒。と。た。し。む。の。情。あ。れ。ハ。
酒。後。の。酒。酔。中。の。酔。ま。ま。バ。次。身。ハ。酔。を。後。し。て。う
け。く。か。る。く。ど。あり。ふ。る。ま。ま。こ。お。と。小。ハ。大。廳。た
け。る。ハ。お。及。ぶ。ほど。孤。老。の。志。が。あ。ら。ハ。ま。て。後。ハ。教。壇
幫。回。も。いろ。く。と。朝。妻。け。ま。バ。仲。居。ども。笑。山。が。り。て。
園。と。ま。り。て。樓。へ。い。ど。ま。り。ハ。岩。ハ。余。を。周。園。中。ハ。原。こ

て、そのやうにとるるよ。金屋風建つらぬて。股の睡
 褥後の睡褥。儒弥のまう一奴。奇南香のかほり
 都として。恰も仙境よ入うとあやまも。忽ち茶と
 うばとまて。謙る奴。仲居よとらうて。睡褥よ勸まひ
 小三板。う府後の。芬盤烟盤とらうげ。出まて茶とこ
 余を衛ハ。国中の制度とらうけどまば。大いふうろなく。技
 ねと源山よふ入ふいして。只よろづみんごんよあつ
 かへば。小三板どもいおか。うらうて。産と退どく。後よ余
 ま測ハ。両手と係よあけし。彼君の今や来るうと。清文
 たり。室中。烟花の分の。呵責の。紅蓮のまとお。八寒の

こたへやううとねさすくよ。細蚊呑酒よ。吞まてあづま路
 ハ。そのさま志どけぬく。国中ふ入りまの。かぶろ号ハ。細や
 かよ。長と烟若よ。金花ほごて。花魁よ。後せば。うりてと
 い付。余を衛よ。さう出す。時いたきて。まて吞。手うら
 の。おろし。げうと。斜よんて。外境客のまにる。男ま
 聖と疎ま。猶。補ぬごて。かいやう。ものともいんを。一と
 そま。まふ。牙とひる。がし。て。階。ま。ハ。小三板ども。ハ。か
 と。ま。ま。よ。余を。測ハ。か。ね。羽。打とぬごて。手。は。う。ら
 た。ま。ま。んと。と。ら。と。短。髪。短。く。ん。て。た。く。も。床。の。間。よ。こ。ろ。か。さ
 香。づ。く。ぬ。い。ら。ま。考。ね。と。ま。て。芬。盤。烟。盤。よ。ら。う。ら。せ

兩個としてよ出りぬ。余も胸にあづま踏と見るに、大いに
 酔つらまてその後しまつて麻入たまに。枕を多葉よふま
 んこととみそきて。被窩が赤き世紙燈と引よせて、こ
 り火と挑げ、其火のかたつらよふり添て、麻んとともに
 あづま踏うつゝをあらねども、大酔ふむねのあつらふらし
 とよか。時々父とらうごめとてとどめたまに。余も胸の葉や
 まいらせんしといひつて脊かまごとりて介抱す。時す
 でおおすもさぬまに。揚屋のさびがしととも、次身小こ
 ひくおりて、そこかしにたのぬく髪とやうこげよ
 竹批形この馬たて、火あやうししのこととも、出に

いづくの寺の文ゆく。種のとえこへて、身よしむおまを
 ぞくしけ時あづま踏ふと目ととまし。酒糸の物るに
 小後がとく、睡襖の中よ父とみこしこかゝるつととね
 ー々まに、余も胸志まらよ脊をかごふのうらよありひ
 ぐるハ、かぐる出名の何よおほきて、父とおほえど、雑物と吐
 ばんおぼえて名やうごさんと。まらよかあごこいして、のそだ
 床の上ふあるおのら羽おとらうらら、や吐べきやうと
 かまに、急な池がはあめてが、いあつま踏心のまし吐はく
 し、まご身がくへして、脚たりぐら。余も胸の羽およ、雑物
 物尻ふほひけいも。其ま、小床の間のまら、いふきて、うら



あつと茶とめたへんし。樓をかきてもとりろよ。合家とま
うきく。飛入ていびとま。やうよとる。青あま。ば。す。ねま
森ま。いへるもあ。とり。火のま。又。晴く。か。こ。お。あ。ら。く。
本林々。と。壁のさく。か。と。て。廊下よりつる。月。う。げ。又。掛
ぬ。原。来。度。く。た。る。柵。ま。ま。ば。竹。比。へ。切。ん。と。か。ま。ま。い
て。且。り。火の。や。く。方。へ。も。と。り。け。り。又。舌。と。す。け。け。て。
お。火。場。の。方。より。ま。燭。と。て。ら。し。け。あ。の。紀。妻。の。仲。居。と
た。ら。へ。あ。づ。ま。茶。と。ま。ば。彼。仲。居。後。親。又。た。ら。る。茶。と。ま。ま。け
か。茶。碗。二。つ。に。う。つ。し。盆。の。せ。て。持。込。ん。と。り。よ。と。ひ。た
と。ら。る。自。ら。名。て。国。中。又。降。る。吾。妻。路。と。ゆ。え。と。ま。し。

一盞とめたゆま。あづま。路。た。飲。の。ま。を。し。て。一盞
と。も。と。り。て。飲。か。い。ま。その。ま。ま。後。も。ま。ら。す。所。と。り。し。の。
ま。ま。ぼ。ろ。し。の。ど。く。ね。ま。と。ま。ま。ね。む。ね。の。あ。ら。う。う。し。に
や。折。く。外。と。か。へ。し。て。ま。ま。ま。へ。余。ま。場。ひ。た。も。の。脊。板
ぬ。て。お。う。し。て。後。お。が。ら。いた。は。る。り。ち。既。ま。ま。の。ゆ。に。及。び。て。
所。際。ま。の。ま。を。お。ら。り。も。鈴。の。音。花。や。う。ま。や。え。り。か
け。時。あ。づ。ま。路。ハ。忽。然。と。眼。と。ま。ま。し。脊。と。ま。ま。し。あ
る。と。お。の。が。小。三。板。ま。ま。し。う。け。く。心。よ。お。ひ。の。か。こ。へ
居。ぬ。いた。る。客。人。も。あ。ま。ま。と。い。か。か。と。ろ。き。あ。ま。し
あ。の。お。仲。の。い。附。て。御。さ。し。く。嘔。吐。と。ぬ。し。て。あ。つ。れ

茶とのこし奉まど。ふりい出せば。恥うハハハ。其や
枕ぐにあり。所翠紙くつて。かへま。余を周にをじ
令釈して。展風あし。のけ出れ。よそは。面ハ芝蔴のこ
らふ。ごごく。ハ女ハ。縁柳の。ぬや。りる。小似て。十か。の。た。こ
ふ。は。ま。り。れ。ハ。忽。ち。暈。む。ね。よ。き。ど。余。を。尚。ハ。た。く。解。る。が
ど。く。令。釈。う。つ。本。ら。う。と。待。そ。し。て。ぞ。居。た。り。る。

○十回 夏路なるもの

吾妻路ハ。樓と。ぬ。ま。て。か。し。この。房。は。所。た。る。二人。の。小。三。板
と。ゆ。ま。ぬ。こ。し。ゆ。べ。酒。ま。た。え。う。ね。て。嘔。吐。を。ぬ。し
け。り。し。と。茶。と。え。こ。び。脊。筋。な。ま。で。し。う。と。尋。ら。に。と。ら。ま。は

ら。ど。と。思。ふ。ゆ。へ。ぬ。ハ。終。お。ろ。ろ。と。付。こ。女。抱。あ。り。し。な。
彼。客。人。なる。よ。ま。は。く。く。と。し。ゆ。ハ。事。な。お。も。い。え。る。に。心
よ。ま。ぬ。人。の。ゆ。ふ。ふ。り。ふ。さ。ま。り。甘。ん。と。い。つ。う。ま。へ。ぬ
酒。の。と。て。圍。ま。入。り。詞。も。か。は。さ。ば。伏。た。り。し。と。尋。ら。に。た
客。人。な。ま。ば。や。ハ。う。そ。ま。に。お。る。と。ん。や。い。う。け。し。と。ま
我。の。こ。う。い。合。家。ま。で。も。恥。た。て。恥。し。と。恥。え。せん。よ。ま。い
ぬ。く。し。て。ほ。ま。さ。さ。ぬ。と。願。し。と。も。ふ。は。さ。す。お。た。な。ま。は
せ。め。て。か。い。な。う。ま。し。茶。ぬ。こ。の。脊。筋。な。ま。の。を。あ。つ。い
誰。の。さ。の。ど。く。ま。ん。せ。つ。と。尋。す。人。や。ハ。あ。る。と。尋。ら。ふ。勿。体
ぬ。く。も。尋。の。毒。は。お。も。へ。ど。も。又。尋。の。柱。の。つ。ら。の。を。い。ぬ

おもへば。涙くまをいたりよ。やうかハまきば。其本性さごら
ぬらば。とカあらんかくやあらんと公うごがいて。お縁
し。ご。行もせよ。介抱の礼と述んもの。国に至らんと
せし。ご。ま。嘔吐の幸。同んも。とす。ご。に。恥。う。う。とく
も。て。る。せ。一。事。と。ふ。も。へ。ば。毒。れ。毒。も。と。さ。ま。ま。て。面。成
合す。べ。う。も。ら。ら。ず。と。沈。吟。せ。一。ご。衛。公。と。さ。ハ。一。且。み
も。て。礼。と。の。べ。台。鼎。の。身。の。上。と。も。す。ま。ま。い。よ。く。ま。こと
ある。人。ぬ。ら。ば。又。ま。あ。ん。も。あ。る。べ。一。と。ま。人。々。ら。鳴。と。よ。び。て。
公。比。お。一。と。ふ。も。て。お。し。又。の。ぬ。こ。一。び。ん。を。く。も。憑。める
よ。一。ひ。珍。して。其。文。ハ。兩。個。の。小。三。板。と。引。つ。ま。て。ぬ。ま。ば。

本。の。の。樓。の。国。に。行。余。を。衛。又。對。して。ま。う。く。れ。う。ぬ
い。ひ。て。厚。く。と。つ。と。と。述。る。余。を。衛。も。う。つ。ま。踏。ぐ。は。海。に
さ。ま。ま。い。ま。や。と。一。事。以。ま。る。由。へ。公。比。を。い。ま。ら。ず。と。
す。て。系。以。ま。い。ら。せ。んと。夾。帝。と。ひ。ら。くと。委。時。ま。い。ば
し。一。と。ご。めて。花。魁。ま。い。もと。や。宿。も。と。へ。ぬ。ま。う。と。い。へ。る。に。
だ。あ。う。ば。う。た。又。所。た。へ。ぬ。ま。と。い。ひ。つ。筆。ま。め。懸。一。国。と
出。ん。こ。ま。け。防。松。島。床。を。羽。折。と。と。と。め。て。い。ろ。う。ハ。一
く。な。あ。ぐ。る。う。ら。余。を。衛。ハ。と。ご。小。樓。と。下。り。ぬ。堂。子
らん。を。け。羽。織。の。う。ら。よ。一。塊。の。擇。物。と。ら。らん。と。ハ。
忽。ち。う。り。ふ。こ。ば。ま。あ。ふ。と。て。狼。藉。を。ら。松。島。大。ふ。ど。ろ。死

ぬいかの客人が嘔吐よと推しう。さすうハ不がらのきり
 水とが浅間ふも客の氣ハつまつど。幸い朝まで死の
 事なまとの。推しうものもあらざと。後とら、掃ぬい
 羽折ハ水鏡のあそそ。死。親妻の仲居とよいて
 客人の羽折の酒よぬまあそとそ。死。屋う。う。目
 か。う。て。め。と。い。ひ。て。お。の。が。宿。へ。う。つ。り。し。ご。有。り。お。れ
 戸とと。向よお。う。ご。ま。バ。羽。折。よ。搦。物。の。け。と。あ。り。
 と。け。ー。か。ら。ぬ。事。に。お。い。ぬ。吾。妻。路。よ。け。は。か。た。ら。ん。と。糞。房
 小ちとおひとをバ。頭痛よるやと。お。け。て。小。三。板。よ。顔。い
 も。こ。せ。笑。よ。す。ら。せ。こ。公。代。あ。ー。げ。お。ゆ。へ。ま。ら。其。守。を。

同てのらよべの客人とそ。手。膝。を。れ。花。魁。を。ハ。志。ら。せ。た。ま
 ハ。ど。や。羽。折。よ。嘔。吐。と。け。と。て。ゆ。ら。ま。ー。ハ。幸。と。よ。て。も
 あ。ー。か。ま。ー。や。手。と。ハ。た。ー。と。ま。き。酒。成。い。け。ち。な。く。飲。ま。し
 や。と。あ。ら。ま。ぬ。事。成。か。ぞ。へ。た。て。其。ま。も。ま。つ。て。積。り。を。れ
 ば。あ。づ。ま。の。踏。ハ。殆。て。嘔。吐。の。け。傍。と。あ。り。お。も。を。ぐ。の。海。切
 と。お。い。た。ら。う。へ。て。お。も。珠。か。あ。る。人。なる。小。治。様。く。も。麻
 呂。も。て。お。ー。事。よ。と。忽。む。ね。ふ。た。ぐ。り。て。積。聚。と。り。こ。ま。
 搦。ま。し。げ。よ。え。え。と。ま。の。皆。く。ほ。ど。い。う。て。命。抱。ま。し。ぬ。の
 づ。ま。踏。う。と。も。公。の。と。り。や。ら。ね。バ。方。の。いた。づ。さ。と。ま。こ。ー。ら。へ
 二。三。日。ハ。お。け。ー。ダ。あ。い。と。さ。る。さ。よ。い。と。ま。ま。さ。出。名。の。方

又まばかの人の幸の之。斤かよハカれども。そのまよ止
 る。天良縁とあるさるや。嗚呼余を漸が一年の幸
 若一板のむだ事とかうハ幸をなし。さまども余を漸
 あつま路が。さうか。そ。大醉せし。ハ。家。あ。ら。ず。た。お。け。し
 と。め。よ。深。く。し。との。ま。お。り。い。て。お。熱。ま。ま。や。ろ。し。ふ。を。い
 て。無。情。志。き。り。よ。い。や。路。ま。と。ま。と。身。の。目。ご。と。う。つ。ま。ま。ば
 今一板買ねばを。さ。だ。こ。も。ま。く。か。り。よ。他。ハ。ま。人。豪。富。の
 昇。じ。の。よ。し。て。又。よ。其。日。そ。ろ。の。賣。油。所。に。趣。と。べ。と
 も。の。小。あ。ら。ず。と。忽。病。疔。の。靈。さ。う。成。ら。う。い。こ。ま。さ。う
 只。生。ま。よ。の。こ。ん。と。お。ど。ぬ。日。く。油。握。を。着。い。て。ま。う。く

小むらぶ。一年あま。り。河。原。の。街。と。り。か。り。い。る。中。に。死
 ま。ひ。り。く。舟。ぬ。る。由。へ。各。日。小。か。の。所。に。け。し。と。彌。南。ヶ。の
 奇。縁。を。せ。ず。あ。つ。ま。路。が。及。中。と。足。て。ハ。忽。ち。熱。毒。に。い
 か。ま。て。お。も。ハ。ぎ。地。が。好。方。よ。ま。た。い。お。く。竹。糸。の。青。樓。ふ。い
 々。ま。バ。踏。か。ほ。げ。よ。ま。は。く。て。か。へ。る。幸。殺。回。る。ま。ハ。い。い
 さ。の。人。の。目。小。さ。ま。り。後。よ。も。ま。く。拵。投。屋。の。あ。づ。ま。路
 を。ま。よ。賣。油。所。が。忽。想。せ。し。と。廓。中。よ。し。ら。は。き。の。こ
 か。せ。り。折。花。街。は。依。隊。の。通。中。た。る。が。右。末。さ。う。其。依。隊。の
 して。面。目。瓜。正。し。して。拘。向。と。く。別。件。と。傳。へ。こ。右。ま。よ
 裾。と。は。う。ま。左。子。瓜。紐。は。霞。ひ。春。の。日。の。藤。ハ。あ。る。も。五。の。月

の突ツキ也ヤるも塗ヌたる高タカ足アシ駄ダとふと柄カ長チカき傘カサはさしりけ
させ。八ヤチ文字ムジ小コ町チヨウア由ユきて。仇ウラとりつり足アシどるぞ。割セ度ドりて
吾オレ妻メ路ヂも偶トキハハかの賣ウ使シ身ミとる事コトありと只ただ性セイ末マシと
のこおひいし。は希まれ有あの事コトといひそやをさしり。成なりもさしりて
我われりふらしと事コトなまは。一日いちにちかの賣ウ使シ身ミ。紫むらさ後ご搦なの刻とき
下したよいこひて。又また強こある成なり又またとめ。晴はとあるハかの者ものふやと
行いかましく。ねうし。同どうよ。足アシまは。日ひれ。狐きつね走はふ。面おもてさし。ぬ
似にく。さ。ま。ま。そ。ま。ハ。鶯うす羽はの豪かう富ふこま。ハ。池いし。を。男おとこまは。は
ふ。つ。と。そ。ま。と。も。お。ひ。い。き。ま。ず。勿な漏れその日ひと。約やくし。こ。る
客きやく人にんの。風かぜ月つき橋はしの。も。と。小こ末すえま。ま。せ。ば。その。ま。う。看かん樓ろうよ。入いり。こ。

そ人ひと妻め路ぢよ。突ツキ山ヤマよ。六むの事コト成なりか。た。ま。は。小こ三さん板ばんの。鶯うす野のさ。う
くも。よく。足アシま。は。て。後ご人にんよ。遠たかハ。い。つ。る。ゆ。へ。羽はま。日ひ
長なが下したへ。松まつ島しまと。や。り。て。縁ゆかり中なかつ成なり同どう。ひ。る。よ。と。ら。小こ似に事コトな
ま。事コトよ。と。り。よ。ま。う。て。一ひと且またその。う。さ。が。ひ。い。ま。ぬ。ま。ま。も。其その
の。ち。ま。ま。と。賣ウ使シ身ミ成なり足アシる。小こま。が。う。べ。う。も。あ。ら。ず。さ。ま。よ。や
寫うつから。ど。る。も。の。ハ。か。ま。ま。は。再またを。成なりう。と。ふ。け。て。さ。が。ひ。か。る。

